

フィデリティ・ 世界割安 成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

Cコース

(毎月決算・予想分配金提示型・
為替ヘッジあり)

Dコース

(毎月決算・予想分配金提示型・
為替ヘッジなし)



「フィデリティ・世界割安成長株投信」を活用した 積立投資のご提案



投資信託口座を通じたお取扱いの場合

お申込み/販売会社は



三菱UFJ銀行

商号:株式会社三菱UFJ銀行
登録金融機関:関東財務局長(登金)第5号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合

お問合せ/ご照会先



三菱UFJ銀行

商号:株式会社三菱UFJ銀行
登録金融機関:関東財務局長(登金)第5号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

委託金融商品取引業者/販売会社は

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

商号:三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第2336号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

情報提供資料

2022年12月

設定・運用は

フィデリティ投信株式会社



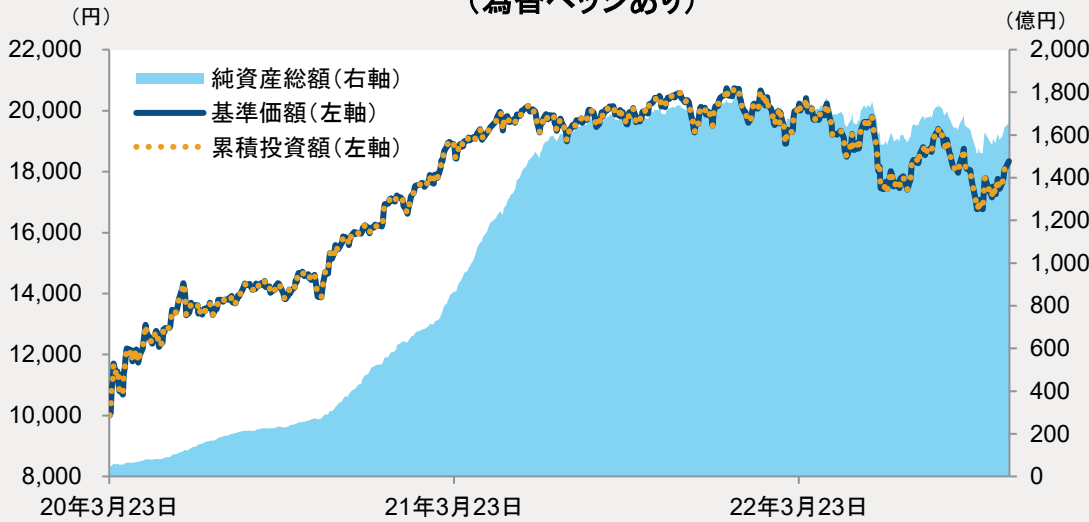
金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第388号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
ホームページ: <https://www.fidelity.co.jp>
フリーコール: 0120-00-8051
(営業日の午前9時~午後5時)

三菱UFJ銀行の苦情処理措置および紛争解決措置は一般社団法人全国銀行協会または特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センターを利用します。
全国銀行協会相談室:0570-017109/03-5252-3772、証券・金融商品あっせん相談センター:0120-64-5005
受付時間:月~金曜日/9:00~17:00(祝日・12/31~1/3等を除く)

ファンドの運用実績

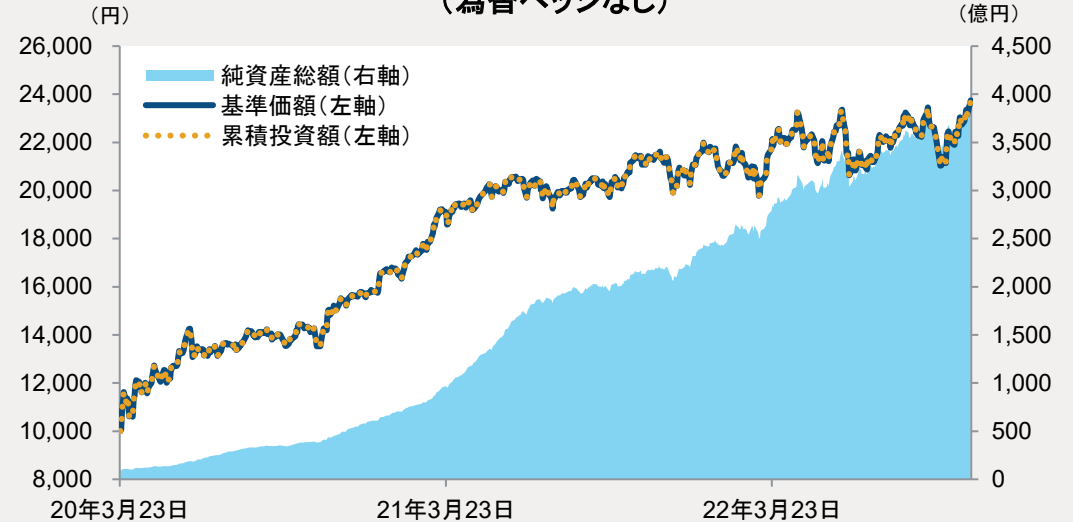
フィデリティ・世界割安成長株投信 基準価額、累積投資額、純資産総額の推移 (2020年3月23日(設定日)～2022年10月31日)

**Aコース
(為替ヘッジあり)**



	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンドの 累積リターン	-1.45%	-4.77%	-9.02%	-	83.37%

**Bコース
(為替ヘッジなし)**



	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンドの 累積リターン	7.16%	7.88%	12.58%	-	137.40%

※基準価額は運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※上記の実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

フィデリティ・世界割安成長株投信 (愛称 テンバガー・ハンター) の魅力



- ◆ 30年を超える優れた運用実績を日本へ*
- ◆ 一貫した投資哲学でテンバガー(10倍株)の原石を発掘
- ◆ フィデリティが世界に展開する企業調査

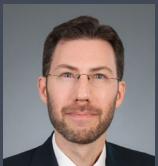
当ファンドの
運用担当チーム

共同運用主担当者



ジョエル・ティリングハスト
(ピーター・リンチから薫陶)

共同運用担当者



サリム・ハート
(運用調査経験: 2007年~)



モーガン・ペック
(運用調査経験: 2003年~)



サム・シャモビッツ
(運用調査経験: 2002年~)

テンバガーを発掘し投資する運用担当者を”テンバガー・ハンター”といいます。元祖”テンバガー・ハンター”として著名なピーター・リンチの愛弟子であり、現在にその匠の技を引き継ぐ直系こそ、当ファンドの運用担当者 ジョエル・ティリングハストで、”テンバガー・ハンター”の系譜は、フィデリティの若い世代にも継承されています。

テンバガー(10倍株)の原石を発掘する投資哲学

- 1 感情的になり、勘にしたがって投資をしてはならない。
忍耐強く、合理的に投資をしなければならない。
- 2 流行に左右されず、独自の製品や特別なサービス、健全な財務を備えた強い事業に投資をしなければならない。
- 3 華やかで最新の話題性を持つ銘柄は価格が過大であることが多い。
割安な銘柄に投資をしなければならない。

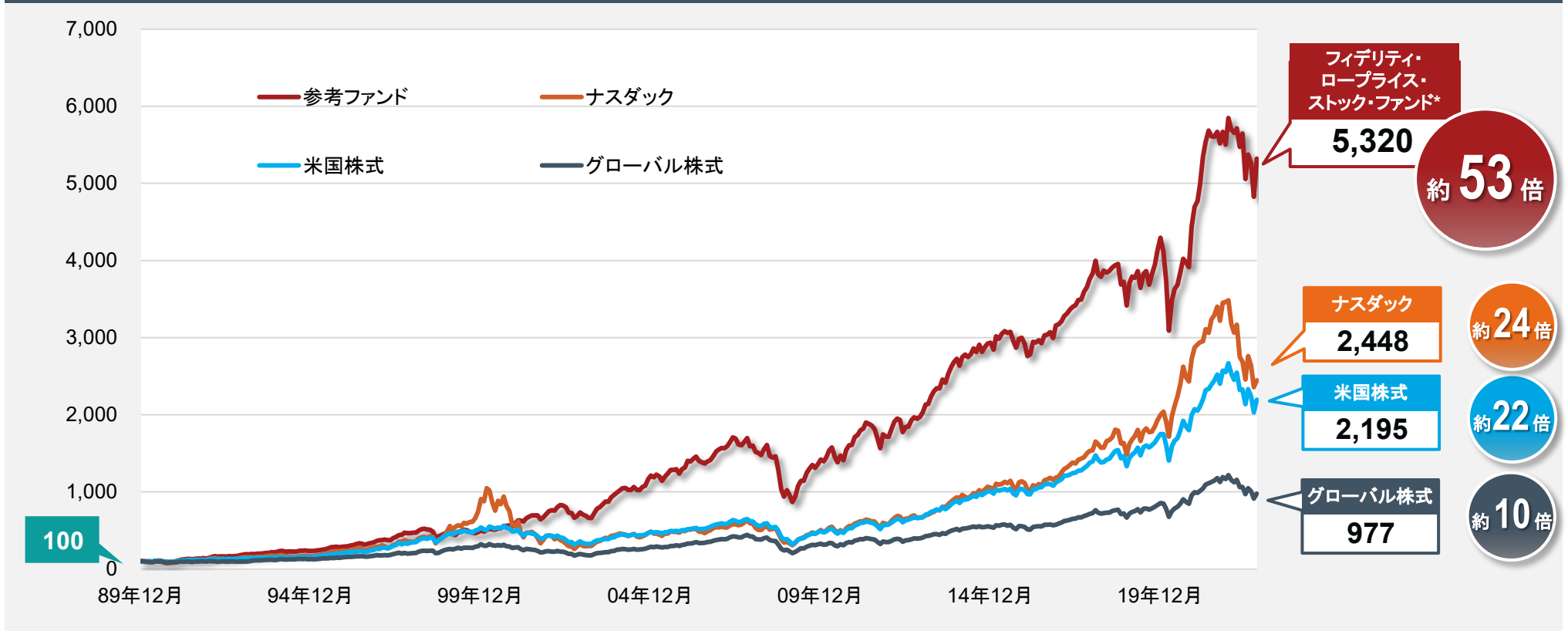
ジョエル・ティリングハスト

*当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。

長期での優れた運用実績

- ◆ 参考ファンドは約32年の運用で、約53倍のリターン実績となりました。
- ◆ グローバル株式、米国株式に加え、テクノロジー株式を多く含むナスダックを大きく上回っています。

「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」(参考ファンド)、グローバル株式、米国株式、ナスダックの推移



(注) RIMES、FMR Coよりフィデリティ投信作成。米ドルベース。期初を100として指数化。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス、米国株式はS&P500種指数。ナスダックはナスダック総合指数。トータルリターン指数を使用。但しナスダックは価格指数。期間は設定日(1989年12月27日)～2022年10月末の月次データ。

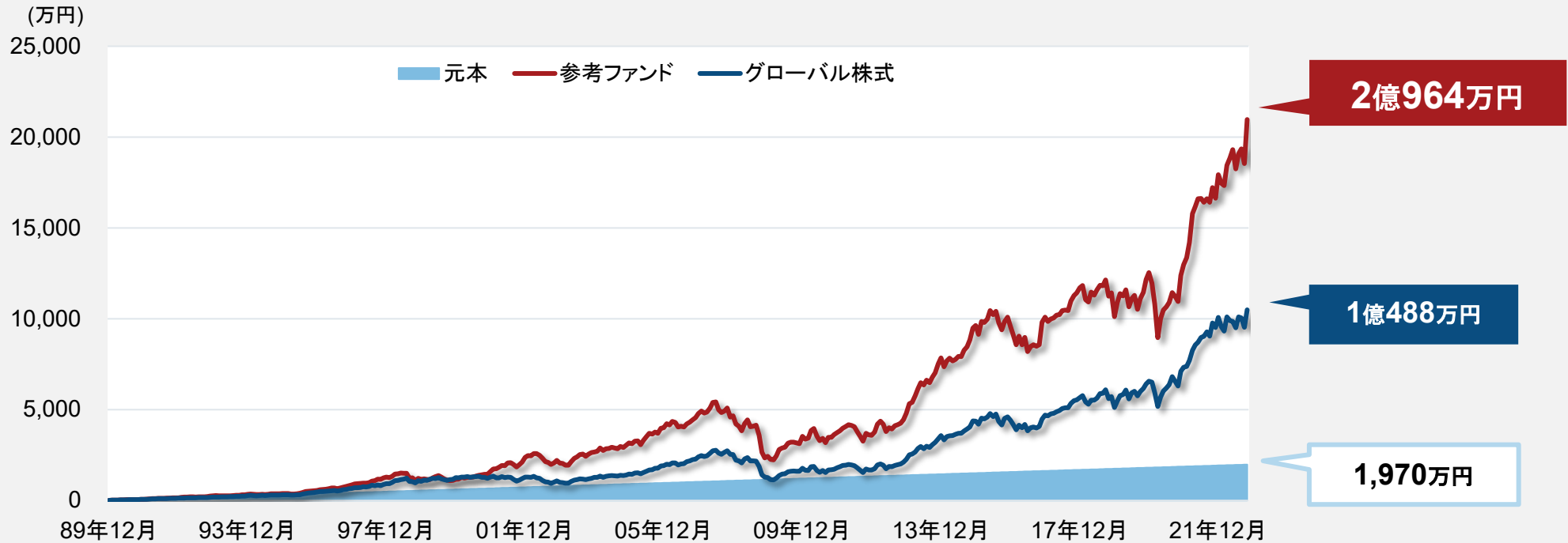
当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。

積立投資の効果

- ◆ 参考ファンドで毎月5万円の積立を約32年間行くと、最終金額は2億円を上回りました。
- ◆ 短期的な動きに惑わされず、コツコツと着実に積立投資を行うことをお勧めします。

「フィデリティ・世界割安成長株投信」は2020年3月設定のため、参考ファンドの実績にて長期積立投資のデータを掲載しております。

毎月5万円を約32年間投資した場合の参考ファンド・グローバル株式・元本の推移



計算の前提

- ・ 参考ファンドの実績は「フィデリティ・世界割安成長株投信」の信託報酬率(年率1.65%税込)を控除して算出。購入時手数料は控除無し。
- ・ 1989年12月末から毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末(2022年10月末)には積立を行わない。

(注) RIMES、FMR Coよりフィデリティ投信作成。計算期間は1989年12月末～2022年10月末。円ベース。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス(税引前配当込み/円ベース)。千円以下は四捨五入した金額を表示。

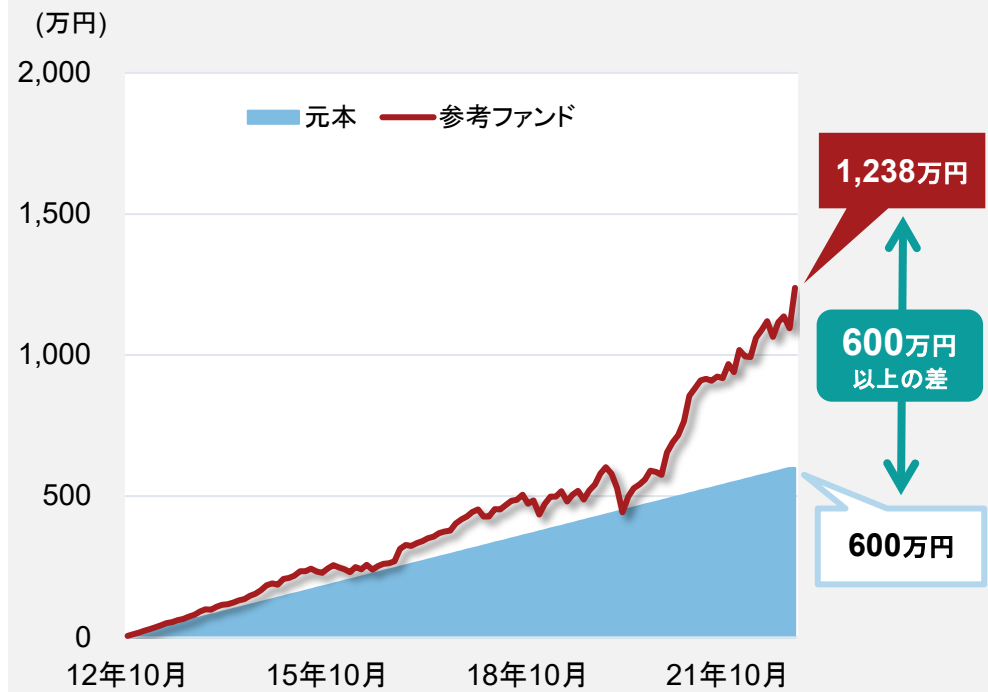
当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。

「フィデリティ・世界割安成長株投信」は2020年3月設定のため、参考ファンドの実績にて長期積立投資のデータを掲載しております。

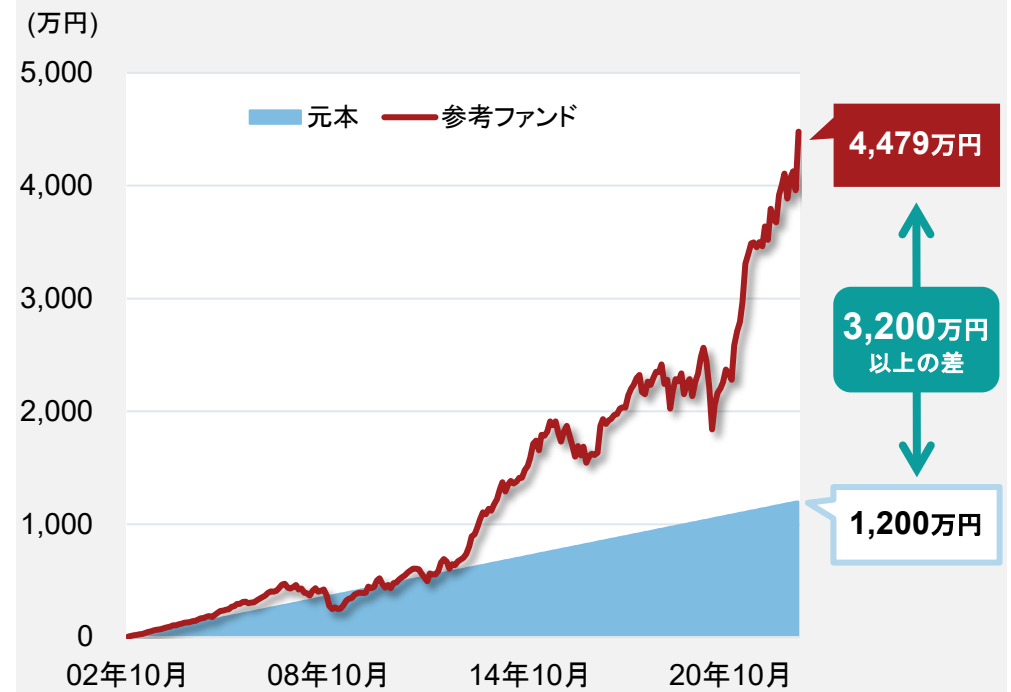
積立投資は長期運用により大きな収益期待

- ◆ 10年間で20年間の積立を比較すると、2倍の投資金額に対して最終金額は3倍以上の差になりました。
- ◆ 長い期間で積立をすると、より高いリターンを享受できる可能性が広がります。

毎月5万円を10年間積み立てた場合



毎月5万円を20年間積み立てた場合



計算の前提

- ・ 参考ファンドの実績は「フィデリティ・世界割安成長株投信」の信託報酬率(年率1.65%税込)を控除して算出。購入時手数料は控除無し。
- ・ 各開始時点から毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末(2022年10月末)には積立を行わない。

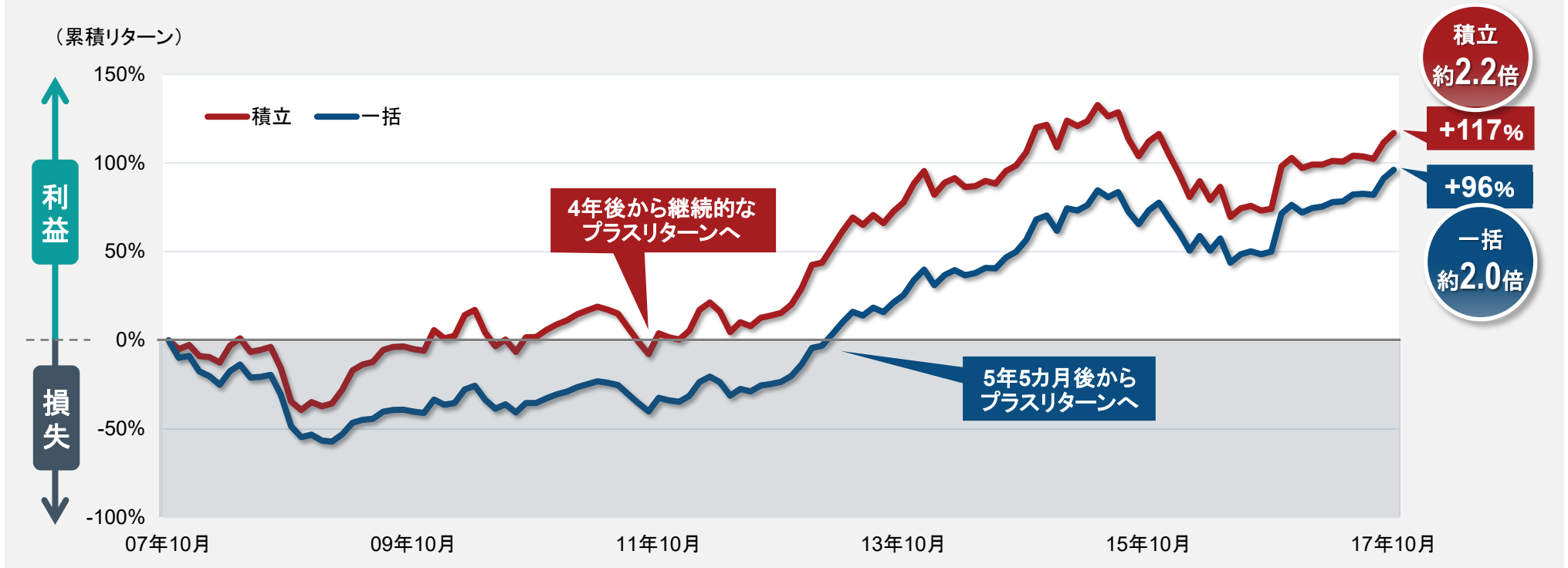
(注) FMR Coよりフィデリティ投信作成。計算期間は左: 2012年10月末~2022年10月末、右: 2002年10月末~2022年10月末。円ベース。千円以下は四捨五入した金額を表示。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。
「フィデリティ・世界割安成長株投信」は2020年3月設定のため、参考ファンドの実績にて長期積立投資のデータを掲載しております。

積立投資の時間分散による効果

- ◆ 金融危機直前から投資した場合、積立投資は一括投資よりも早くプラスリターンに回復しました。
- ◆ 積立投資によってリスクを時間分散し、大きな下落に伴う損失を抑制することが可能です。

金融危機直前からの10年間における参考ファンドの累積リターンの推移(積立、一括購入)



計算の前提

- ・ 参考ファンドの実績は「フィデリティ・世界割安成長株投信」の信託報酬率(年率1.65%税込)を控除して算出。購入時手数料は控除無し。
- ・ 積立は2007年10月末から毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末(2017年10月末)には積立を行わない。

(注)FMR Coよりフィデリティ投信作成。計算期間は2007年10月末～2017年10月末。円ベース。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。
「フィデリティ・世界割安成長株投信」は2020年3月設定のため、参考ファンドの実績にて長期積立投資のデータを掲載しております。

コツコツ長期で将来への備え

- ◆ 毎月の積立額と積立期間の違いによる過去の運用成果は以下のようになりました。
- ◆ 積立額が大きく、長期になるほど、将来への大きな備えにつながります。

金額別、期間別の参考ファンドによる積立投資の運用成果の試算(カッコ内は元本総額)

毎月の積立額	5年間 (2017年10月末～)	10年間 (2012年10月末～)	20年間 (2002年10月末～)	30年間 (1992年10月末～)
1万円	98万円 (元本60万円)	248万円 (元本120万円)	896万円 (元本240万円)	2,908万円 (元本360万円)
5万円	488万円 (元本300万円)	1,238万円 (元本600万円)	4,479万円 (元本1,200万円)	1億4,539万円 (元本1,800万円)
10万円	975万円 (元本600万円)	2,476万円 (元本1,200万円)	8,957万円 (元本2,400万円)	2億9,078万円 (元本3,600万円)
50万円	4,877万円 (元本3,000万円)	1億2,380万円 (元本6,000万円)	4億4,785万円 (元本1億2,000万円)	14億5,390万円 (元本1億8,000万円)

計算の前提

- ・ 参考ファンドの実績は「フィデリティ・世界割安成長株投信」の信託報酬率(年率1.65%税込)を控除して算出。購入時手数料は控除無し。
- ・ 毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末(2022年10月末)には積立を行わない。
- ・ 2022年10月末までの参考ファンドの運用実績に基づいた試算。

(注)FMR Coよりフィデリティ投信作成。円ベース。千円以下は四捨五入した金額を表示。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。
「フィデリティ・世界割安成長株投信」は2020年3月設定のため、参考ファンドの実績にて長期積立投資のデータを掲載しております。

ファンドの特色

- 1 フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
- 2 企業の長期的な成長力と株価の割安度に着目し、企業の本源的価値を見極める運用を目指します。
- 3 個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ*」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。
*ボトム・アップ・アプローチとは、綿密な個別企業調査活動を行なうことにより、企業の将来の成長性や財務内容などファンダメンタルズを調査・分析し、その結果をもとに運用する手法です。
- 4 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
- 5 Aコース(為替ヘッジあり)／Cコース(為替ヘッジあり)は、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。
Bコース(為替ヘッジなし)／Dコース(為替ヘッジなし)は、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行ないません。
- 6 マザーファンドの運用にあたっては、FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

※ファンドは「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」を通じて投資を行ないます。上記はファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色および投資方針を含みます。

収益分配方針

<収益分配方針(全コース共通)>

- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
 - 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。
 - 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。
- ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

<収益分配方針(Aコース/Bコース)>

毎決算時(原則2月20日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として上記の収益分配方針に基づき分配を行ないます。

<収益分配方針(Cコース/Dコース)>

毎決算時(原則毎月20日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として上記、及び以下の収益分配方針に基づき分配を行ないます。

毎計算期末の前営業日の基準価額に応じて、下記の金額の分配を目指します。

毎計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上	400円

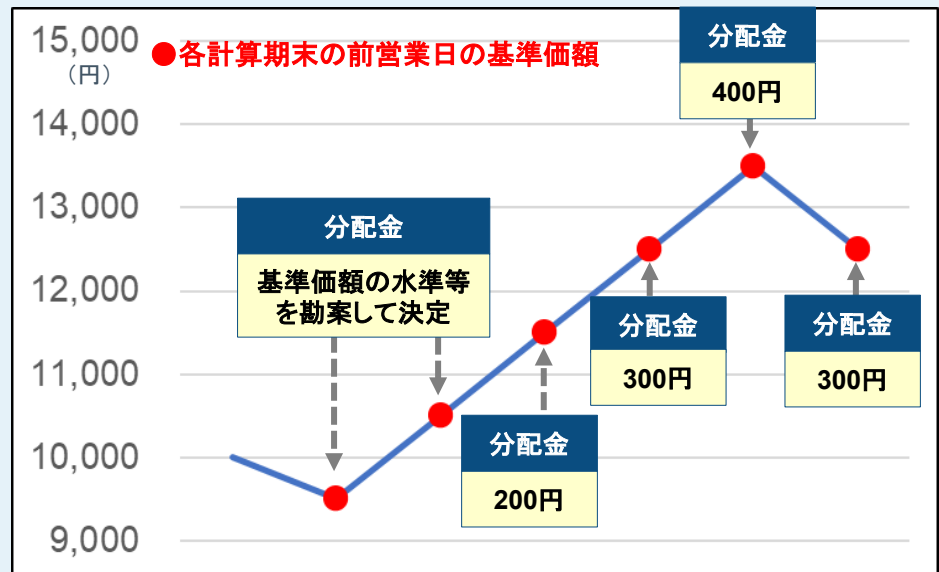
※毎計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市場動向等によっては、委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。

※基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記表に記載された基準価額水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。

※分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

※上記表に記載された基準価額および分配金額は将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

基準価額と分配金のイメージ



※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を保証または示唆するものではありません。

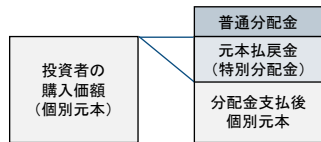
収益分配金に関する留意事項

- 1 ファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、それぞれの投資者ご自身の個別元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 2 分配金は預貯金の利息とは異なり、分配金支払い後の純資産は減少し、基準価額の下落要因となります。
- 3 分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります、その場合当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落します。

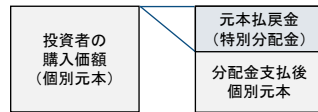
分配方針や頻度の異なるコースが存在する場合は、投資者は自身の選好に応じて投資するコースを選択することができます。販売会社によってはコース間でスイッチングが可能です。

- 1 投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
 ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
 ファンドの購入価額は、個々の投資者によって異なりますので、投資期間全体での損益は、個々の投資者によって異なります。

分配金の一部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



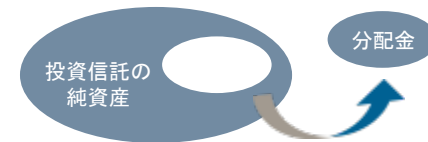
分配金の全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

- 「個別元本」とは、追加型投資信託の収益分配金や解約(償還)時の収益に対する課税計算をする際に用いる個々の投資者のファンドの購入価額のことを指します。
- 「普通分配金」とは、個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- 「元本払戻金(特別分配金)」とは、個別元本を下回る部分からの分配金です。実質的に元本の払戻しに相当するため、非課税扱いとなります。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



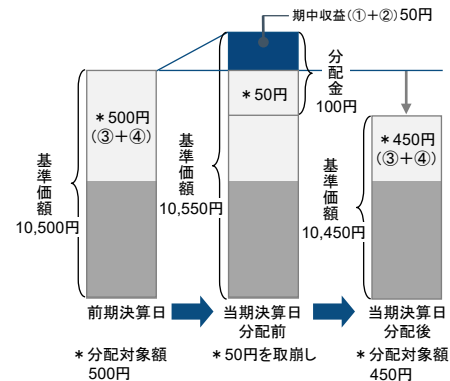
- 3 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。

投資信託は、当期の収益の他に、ファンドの設定から当期以前の期間に発生して分配されなかった過去の収益の繰越分等からも分配することができます。

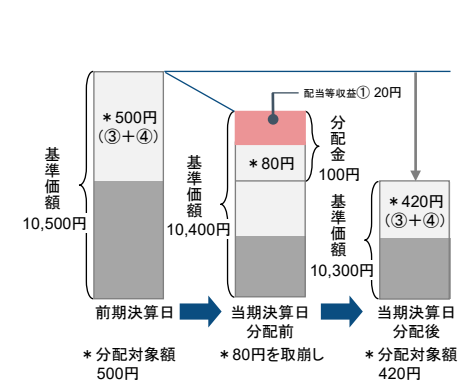
※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※右記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

前期決算から基準価額が上昇
当期計算期間の収益がプラスの場合



前期決算から基準価額が下落
当期計算期間の収益がマイナスの場合





投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じる可能性があります。

ファンドが有する主なリスク等(ファンドが主に投資を行なうマザーファンドが有するリスク等を含みます。)は以下の通りです。

主な変動要因

価格変動リスク

基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。

為替変動リスク

Aコース(為替ヘッジあり)／Cコース(為替ヘッジあり)は為替ヘッジを行なうことで、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際には当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があります。Bコース(為替ヘッジなし)／Dコース(為替ヘッジなし)は為替ヘッジを行わないため、外貨建の有価証券等に投資を行なう場合には、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。

エマージング市場に関わるリスク

エマージング市場(新興諸国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

クーリング・オフ

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

流動性リスク

ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要が生じた場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。

デリバティブ(派生商品)に関する留意点

ファンドは、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ(派生商品)を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。

フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）／Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）／Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）
追加型投信／内外／株式

お申込みメモ	ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。※三菱UFJ銀行でお申込みの場合
購入単位	分配金再投資コース(累積投資コース):1万円以上1円単位 *購入単位には購入時手数料(税込)が含まれます。 *再投資される分配金については、1口単位とします。 *投資信託口座を通じたお申込みの場合は上記以外の購入単位でのお取扱いもございます。くわしくは、三菱UFJ銀行のホームページをご覧ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	投資信託口座:1円以上1円単位、または1口以上1口単位、または全部。 金融商品仲介口座:1口以上1口単位、または全部。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 ご換金代金は、原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いいたします。
スイッチング	各コース間にてスイッチングが可能です。スイッチングに伴うご換金にあたっては、通常のご換金と同様に税金がかかります。
申込受付時間	ご購入およびご換金の受付については、原則として、毎営業日(ただし、ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日と同日の場合は除きます。)の午後3時までに、販売会社が受けたものを、当日のお申込み受付分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件10億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。

ファンドに係る費用・税金

購入時手数料 購入代金に応じて、以下に定める手数料率を購入金額に乗じて得た額とします。
購入時手数料(税込)は、購入代金から差し引かれます。

購入代金*	手数料率
1億円未満	3.30%(税抜3.00%)
1億円以上3億円未満	2.20%(税抜2.00%)
3億円以上5億円未満	1.10%(税抜1.00%)
5億円以上10億円未満	0.55%(税抜0.50%)
10億円以上	無手数料

* 購入代金=購入金額(購入価額(1口当たり)×購入口数)+購入時手数料(税込)
※インターネット取引でご購入の場合は、上記手数料率から10%優遇。ただし、優遇対象外となる場合もあるため、くわしくは三菱UFJ銀行のホームページをご覧ください。

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」、「ジュニアNISA」の適用対象です。

※ファンドに係る費用・税金の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

運用管理費用(信託報酬) 純資産総額に対し**年率1.65%(税抜1.50%)**
その他費用・手数料

・組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等がファンドより支払われます。(運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示できません。)
・法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等がファンドより差し引かれます。(ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とします。)

税金 原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。

信託財産留保額 ありません。

その他のファンド概要

信託期間	原則として無期限(Aコース/Bコース:2020年3月23日設定 Cコース/Dコース:2021年11月30日設定)
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。
ベンチマーク	ファンドにはベンチマークを設けません。
収益分配	Aコース/Bコース:毎年2月20日、Cコース/Dコース:毎月20日(ただし休業日の場合は翌日以降の最初の営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づき分配を行ないます。ただし、必ず分配を行なうものではありません。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ※分配金を再投資せず、お客さまの指定口座にご入金するお取扱いを希望される場合は、定期引出契約をお申込みください。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	フィデリティ投信株式会社 【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号 【加入協会】一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 投資信託財産の運用指図などを行ないます。
受託会社	野村信託銀行株式会社 投資信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指示・連絡などを行ないます。
運用の委託先	FIAM LLC(所在地:米国) 委託会社よりファンドの主要投資対象であるマザーファンドの運用の指図に関する権限の委託を受けて、マザーファンドの運用の指図を行ないます。
販売会社	<投資信託口座を通じたお取扱いの場合> 株式会社三菱UFJ銀行 【登録金融機関】関東財務局長(登金)第5号 【加入協会】日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 購入・換金の取扱い等を行ないます。 <金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合> 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第2336号 【加入協会】日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 (金融商品仲介業務等を行なう登録金融機関:株式会社三菱UFJ銀行) ファンドの募集の取扱い、一部解約の実行の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・償還金・一部解約金の支払などを行ないます。



ご注意点

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 「フィデリティ・世界割安成長株投信 Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)」「フィデリティ・世界割安成長株投信 Cコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)／Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)」が投資を行なうマザーファンドは、主として国内外の株式等を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.co.jp/>)をご参照ください。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

IM221125-4 CSIS221205-4